

女子美術大学・女子美術大学短期大学部

2024年度入学者選抜に関するポイントと主な変更点

●全選抜制度に共通する注意点

1. 教育組織・教育課程の再編について

2024年4月入学者より、女子美術大学芸術学部の「美術学科」、「デザイン・工芸学科」、「アート・デザイン表現学科」の3学科では、教育課程を一部変更します。

これに伴い、各専攻・領域の募集人員も一部変更となります。

女子美術大学 芸術学部

- 美術学科 (190)
 - 洋画専攻 (95)
 - 日本画専攻 (45)
 - 立体アート専攻 (20)
 - 美術教育専攻 (15)
 - 国際芸術文化専攻 (15)
- デザイン・工芸学科 (220)
 - ヴィジュアルデザイン専攻 (120)
 - プロダクトデザイン専攻 (35)
 - 環境デザイン専攻 (25)
 - 工芸専攻 (40)
- アート・デザイン表現学科 (160)
 - メディア表現領域 (70)
 - ヒーリング表現領域 (30)
 - ファッション表現領域 (26)
 - スペース表現領域 (17) *新設
 - クリエイティブ・プロデュース表現領域 (17)
- 共創デザイン学科 (60)

女子美術大学短期大学部

- 造形学科 (120)
 - 美術コース
 - デザインコース (グラフィック・メディア・テキスタイル・プロダクト)

2. 障がい等により、特別な配慮を希望する方について

高等学校では特に配慮を要さなかった場合でも、大学の授業形態や、実技の授業内容により、大学では配慮を要するケースが多くありますので、事前相談を必須としています。

また、申請には事前相談でお渡しする所定用紙が必要です。

相談をご希望の方には、女子美入試センター (042-778-6123)に連絡するようお願いください。

※事前相談は、障がいのある入学志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、その方にとっての「合理的配慮」とはどのような事かを話し合い、受験および修学にあたってより良い方法を相談するものであって、合否判定とは一切関係ありません。

3. 外国人留学生について

近年、日本の高等学校で学ぶ留学生が増加しています。

本学では「特別選抜(外国人留学生)」を実施していますが、在留資格が「留学」であっても、日本の高等学校卒業(見込)の方は、特別選抜の出願資格はありませんのでご注意ください。

●選抜制度別特色と変更点

女子美術大学	
総合型選抜	<p>合格発表は11月初旬で、一番早く結果が出る選抜制度です。 提出物や面接を通して総合的・多面的に評価します。 9月に1次審査（書類審査）を行い、通過者は、10月の2次審査を受験できます。 2次審査では、体験プログラムと課題等持参による面接を行い、最終的には1次審査・2次審査の結果を併せて総合的に判定します。 面接時に持参する課題は募集要項に記載しています。 入学が決定した方には入学までの課題を出します。</p> <p><変更点> 募集人員の変更 アート・デザイン表現学科 スペース表現領域で新たに4名募集。 ヴィジュアルデザイン専攻 14名⇒20名、 ヒーリング表現領域 11名⇒8名、ファッション表現領域 7名⇒6名、 クリエイティブ・プロデュース表現領域 5名⇒4名</p>
学校推薦型選抜 (公募制)	<p>11月に実施し、12月初旬に合格発表となります。 出願には学校長の推薦書が必要で、調査書等成績を証明する書類の提出が可能な方が対象です。 1校からの推薦人数に制限はありません。 入学が決定した方には入学までの課題を出します。</p> <p><変更点> 第2志望の申請制度はなくなりました。 募集人員の変更 アート・デザイン表現学科 スペース表現領域で新たに3名募集。 ヴィジュアルデザイン専攻 28名⇒25名、工芸専攻 3名⇒2名、 ヒーリング表現領域 8名⇒7名、ファッション表現領域 5名⇒4名</p>
学校推薦型選抜 (指定校制)	<p>11月に実施し、12月初旬に合格発表となります。 これまでの本学への推薦入学実績や、当該高校のカリキュラム内容等を考慮し、対象校を決めています。 学校により出願可能な学科・専攻・領域および人数が異なります。 募集要項は6月初旬に対象校宛にお送りします。 面接試験を行い、入学が決定した方には入学までの課題を出します。</p> <p><変更点> 提出書類に受験生が記載する「志願調書」が加わりました。</p>
特別選抜 (社会人) (帰国子女) (外国人留学生)	<p>対象者を限定した選抜制度で、11月に実施し、選抜制度により出願資格が異なります。 何れも専門試験、面接、提出書類により総合的に判定します。 美術学科は、同一学科内であれば第2志望の申請ができます。 また、外国人留学生の2次募集は、専攻・領域により実施しない場合があります。</p> <p><変更点> アート・デザイン表現学科 スペース表現領域で新たに若干名を募集。 外国人留学生は土曜日・日曜日の2日間で試験を実施し、面接は土曜日を実施しますが、志願者数により一部日曜日にも実施する場合があります。</p>

<p>一般選抜 (A日程)</p>	<p>2月初旬に実施し、専門試験と本学独自の学力試験(国語・英語)の合計得点で合否を判定します。専門試験の日程が重複しない学科、専攻、領域は併願ができます。</p> <p><変更点> 経済支援は予約型の奨学金に移行し、特待生制度は廃止されました。 募集人員の変更 アート・デザイン表現学科 スペース表現領域で新たに3名募集。 ヴィジュアルデザイン専攻 34名⇒35名、工芸専攻 10名⇒6名、 ヒーリング表現領域 7名⇒5名、ファッション表現領域 5名⇒4名、 クリエイティブ・プロデュース表現領域 4名⇒2名 専門試験の変更 ヴィジュアルデザイン専攻の試験科目が、鉛筆デッサンのみにになりました。 工芸専攻の試験時間は4時間から3時間になりました。</p>
<p>一般選抜 (共通テスト利用 I方式)</p>	<p>A日程と同様、専門試験と学力試験の合計得点で合否を判定しますが、学力試験は大学入学共通テストの結果を利用し、A日程より学力試験の配点比が高くなっています。</p> <p>専門試験はA日程と同日に実施し、A日程と併願する場合は専門試験の得点を両方の試験に使用します。</p> <p>学力試験で利用する科目は、外国語1科目とその他1科目です。英語にはリスニングが含まれ、また、その他科目を複数受験した方は、最も得点の高い科目を利用します。</p> <p>国際芸術文化専攻は英語と国語の科目指定があります。</p> <p><変更点> 募集人員の変更 アート・デザイン表現学科 スペース表現領域で新たに1名募集。 環境デザイン専攻2名⇒3名、ヒーリング表現領域 3名⇒1名 専門試験の変更 A日程と同様です。</p>
<p>一般選抜 (共通テスト利用 II方式)</p>	<p>美術教育・国際芸術文化・プロダクトデザイン・環境デザイン・工芸の各専攻および共創デザイン学科のみ実施します。</p> <p>*アート・デザイン表現学科 スペース表現領域は実施しません。</p> <p>大学入学共通テストの得点のみで判定します。来校の必要はありません。</p> <p>外国語1科目と、その他上位2科目の合計得点で合否を判定します。</p> <p>なお、英語にはリスニングが含まれます。</p> <p>II方式を導入している専攻間はもちろん、I方式・A日程との併願が可能です。</p> <p><変更点> 募集人員の変更 工芸専攻 2名⇒1名</p>
<p>一般選抜 (B日程)</p>	<p>3月に実施し、試験科目は学科により内容が異なります。</p> <p>同一学科内であれば第3志望まで申請できます。</p> <p>美術教育専攻・国際芸術文化専攻の専攻別試験には、「学力試験(大学入学共通テスト結果1科目を利用)」の選択肢があります。</p> <p>美術学科の面接は、国際芸術文化専攻以外の全専攻で持参作品が必要です。</p> <p><変更点> 募集人員の変更 アート・デザイン表現学科 スペース表現領域で新たに実施。 デザイン・工芸学科 9名⇒10名</p>

女子美術大学短期大学部 造形学科

<p>総合型選抜</p>	<p>第Ⅰ期は10月に実施し、合格発表は11月初旬で一番早く結果が出る選抜制度です。 第Ⅱ期は12月に実施し、合格発表は12月です。 提出書類、体験プログラム・面接を基に、総合的に判定します。 入学が決定した方には入学までの課題を出します。 ＜変更点＞ 募集人員 30名⇒33名 第Ⅰ期は、2日に分けて実施します。</p>
<p>学校推薦型選抜 (公募制)</p>	<p>11月に実施し、12月初旬に合格発表となります。 出願には学校長の推薦書が必要で、1校からの推薦人数に制限はありません。 入学が決定した方には入学までの課題を出します。 ＜変更点＞ 専門試験は鉛筆デッサンのみとなりました。(小論文の選択肢は無くなります。) 提出書類に受験生が記載する「志願調書」が加わりました。</p>
<p>学校推薦型選抜 (指定校制)</p>	<p>11月に実施し、12月初旬に合格発表となります。 これまでの本学への指定校制度による入学実績や、当該高校のカリキュラム内容等を考慮し、対象校を決めています。 学校により出願可能な人数が異なります。 募集要項は6月初旬に対象校宛にお送りします。 面接試験を行い、入学が決定した方には入学までの課題を出します。 ＜変更点＞ 面接の際持参する参考資料が実物作品とポートフォリオになりました。 提出書類に受験生が記載する「志願調書」が加わりました。</p>
<p>特別選抜 (特待生)</p>	<p>11月に実施し、12月初旬に合格発表となります。 専門試験のウエイトが高く、出願時には自己アピールシートの提出が必要です。 合格には次の2種類あり、基準点に達した上位2名以内を特待生合格とします。 特待生合格・・・授業料全額が免除されますが、必ず入学することが条件です。 一般合格・・・授業料の免除はありませんが、期日までに手続きを完了すると入学が許可されます。</p>
<p>特別選抜 (社会人) (帰国子女) (外国人留学生)</p>	<p>11月に実施し、12月初旬に合格発表となります。 対象者を限定した選抜制度で、選抜制度により出願資格が異なります。 外国人留学生は2月に2次募集を実施する場合があります。 ＜変更点＞ 出願者数に関わらず、試験日は1日のみとなりました。</p>
<p>一般選抜 (A日程)</p>	<p>1月末に実施する試験で、専門試験の比重が高くなっています。 専門試験は「鉛筆デッサン」です。 ＜変更点＞ 募集人員が25名から27名になりました。</p>
<p>一般選抜 (B日程)</p>	<p>2月末に実施します。 本学独自の学力試験2科目(英語・国語)と専門試験の合計得点で合否を判定します。</p>
<p>一般選抜 (共通テスト利用)</p>	<p>大学入学共通テスト(国語・英語)の結果を利用して判定を行います。 Ⅰ期は2月、Ⅱ期は3月に実施します。 来校せずに結果が出る試験ですが、出願時の提出書類では「志望理由書」が必要です。 「国語」は古典(古文、漢文)を含み、「外国語(英語)」はリスニングを含めます。</p>
<p>一般選抜 (C日程)</p>	<p>3月下旬に試験を実施します。試験は参考資料持参による面接です。 2024年度入学希望者にとって、最後のチャンスとなります。 ＜変更点＞ 募集人員が8名から3名になりました。</p>